

阿佐ヶ谷教会

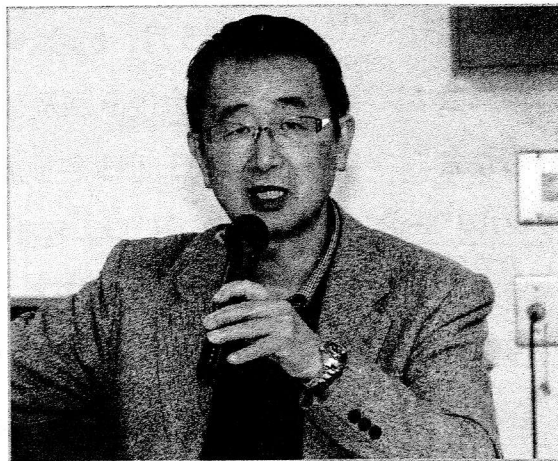


信友会 会報

2 月例会 (信友会総会) (2月23日開催) 報告

信友会報告：事業・会計報告／次期会長・副会長選出
次年度予算案審議ほか

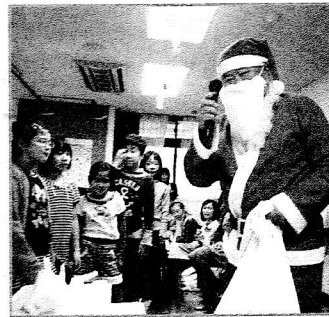
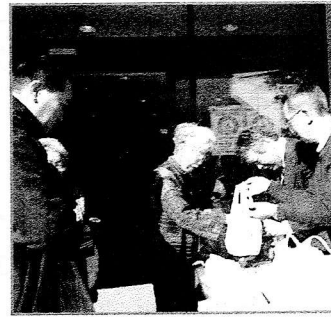
写真は総会議事を進行する 2013 年度信友会・荻原会長



3 月に入り、時折冷たい風の吹く日はありますが、紅梅白梅の木々のつぼみも開花して、既に季節は春の開始を告げています。

過日開催された信友会の総会では来年度の新役員の選出も行われました。今回は選出にあたり新たな試みもされました。結果として多少問題点は残りましたが、前向きな一歩と捉えて今後に期待したいものです。

阿佐ヶ谷教会の男性会員の 8 割を占める信友会の役割は年々大きくなってゆきます。積極的な参加をお願いするとともに、ぜひ集い語らう楽しさを一緒に分かち合いたいものです。



2013 年信友会活動スナップ

信友会例会開催予定： 3 月は 23 日礼拝後に例会を祈祷室にて開催します。
堀川伝道師による使徒言行録第 14 章の学びをいたします。ぜひご参加ください。

I 信友会活動報告 (当日配布資料より抜粋)

1. 例会： 4月、5月、6月、7月、9月、11月、1月、2月、3月（未）の9回実施
2. 役員会： 上記例会後9回及び臨時役員会（主に会長選出方法）を2回実施
3. 修養会： 8月9日（23名参加）、10日（26名）三鷹エピファニー館で開催
4. シルバー会： 6月30日（72名参加）、9月29日（38名）の2回実施
5. 会報： 本号を含み9回発行
6. 復興支援活動： 岩手・福島県の物産販売、書籍販売、パソコン支援、その他募金を8回行う
7. 会員移動： 2013.4.1現在の会員数160名（新入会3名、逝去8名）
8. 会員総数： 2014.2.20現在の会員数155名（国内148名、海外7名）
9. 物品在庫明細： ペン皿、スプーン、ネクタイピンの数量確認
10. 会堂掃除・保育当番： 信友会担当として3月までに10回行う
11. その他： 会長・副会長選出方法について

信友会 会長・副会長の選出方法について

2月23日の信友会総会にて、2014年度の会長及び副会長の選出が行われました。その選出方法についてはこれまで検討、審議した結果、総会当日の出席者のみの投票だけでなく、会員全員を対象とした候補者を事前に推薦してもらう方式を試行として取り入れました。

今回の選出までの流れは以下の通りです。

1. 会員全員に会長・副会長候補の推薦用紙を（週報ボックスに）配布。
2. 推薦用紙に最大3名の被推薦者を記入してもらう（無記名）。
3. 総会の前週までに推薦用紙を推薦用紙箱に投函（郵送も可）を依頼する。（18通集まる）
4. 選挙管理者（今回は役員）が集計し候補者10名前後を選ぶ（今回は11名）。
5. 候補者へリストに載せる旨の事前承諾。辞退者があった時は下位を繰り上げ掲載。（今回はなし）
6. 以上の手順で作られた推薦者リストに、当日の立候補がいた場合は加えて候補者リストとする。（〃）
7. 総会出席者に候補者リストを配布し、会長1名を投票により選出する。（名前欄に○をつける）
8. 会長として決まった人をリストから省いて、残りの中から副会長を2名投票で選出する。（〃）

以上の流れで2014年度の会長と副会長を選出しました。

結果として反省点はいくつかありました。事前推薦の投票に対する広報不足。手順“5.の事前承諾”が時間不足でできていなかった事。これにより候補者リストのその場での変更が必要となった事は大きな反省点でありました。また、総会出席者以外にも投票を確保するという事前の推薦リストでしたが、集まった用紙が18枚だけというのが初回導入時の結果で、この点も満足のいくものではなかったと思っています。

総会参加者のみにしか会長選出の権利がない事。選挙開票の場でいきなり会長、副会長に選出されてしまう事。という問題の解決からは少し隔たりのある今回の結果ではありましたが、もう少し時間を確保して周知を広めてゆくなどの改善する方向が見えて来たとも言えます。

今回の選挙方法の変更は、より多くの方々に信友会の活動に参加していただく事。幅広い意見を取り入れたい事が一番の目的であります。どうかご理解を頂き、ぜひ会員皆様のご意見をお聞かせ下さい。

信友会 役員会

信友会 2013 年度 第 8 回 例会・役員会記録

日 時：2014 年 2 月 23 日 12：30 ～ 15：00（例会後役員会）～17：00

場 所：ホール《例会出席 30 名、役員会 10 名》

1. 総会：2013 年度の活動報告と会計報告および正副会長の選出をした。

(1) 活動報告：13 年度の諸活動報告。（例会、役員会、修養会、シルバー会、震災支援、会員消息など）

(2) 会計報告：中間報告および決算見込額の報告（総額はほぼ予算通り）

および 2014 年度の予算額について審議、承認をした。

なお信友会員 155 名中、会費納入者は 86 名。来期も会費収入増の方策を検討する。

(3) 役員選出：会長：日高好男兄 副会長：寺嶋章兄、中川義幸兄が選出された。

なお部会推薦長老候補は日高好男兄が選出された。

今回の会長・副会長の選挙は事前推薦方式に変更となった。（別欄にて詳細報告）

3. 2 月役員会

(1) 2 月 23 日例会後～17 時、「ホール」にて役員会を実施。

(2) 新方式の選挙についての課題と対策について

（被推薦人への告知方法、試行期間（2 年程度）、参画意識の向上化）

(3) 3 月 23 日の信友会例会は堀川樹伝道師による使徒言行録 14 章を予定。

(4) 新旧役員会を 3 月 30 日音楽集会后開催予定。

以 上

（記録：荻原雄二、会計報告：杉野誠一、写真：小笠原敦久、松田俊彦、会報レイアウト：小野淳二）

わたしと使徒言行録

地の果てに住む

武谷 紀久雄

ルカは使徒言行録のパウロ（パウロ）が経験した幻の記事を描く。ダマスコ途上での回心（9：1-19）はキリスト教の世界伝道への展開に重要な意味を持つ。パウロはユダヤ教ファリサイ派の高度な教育を受け、そのためにエルサレムのイエスをキリスト（メシア）とする新しい運動を危険と感じ、排除しようとしたが、主イエスは彼を用いられるのである。幻はそのほかに、マケドニア人の幻（16：9-10）、コリントでイエスが「語り続けよ」と命じた幻（18：9-10）、ある夜イエスが現れてローマで証をするようにと命じた幻（23：11）などがある。また、パウロをローマに護送する船がクレタ島を出航した後で暴風に襲われ、一同が助かる望みを失いかけた時に、パウロは、前夜に天使が現れて「あなたは皇帝の前に出頭しなければならない」ので、この船は海難を乗り切れると告げている（27：23-26）が、この幻も心に残る。

観光でローマを訪れた折に、コロッセオの廃墟の大闘技場の中に薄黒色のがっしりした木の十字架が一本立っているのが見えた。古代ローマの皇帝ネロのキリスト教徒迫害や観衆の好みなどを印象付けるものだが、わたしにはその木の十字架はずっと心に残っている。

ローマの郊外にあるカタコンベにも 2 度ほど行ってみた。ここも廃墟になって地下に埋まっていたものが後の時代に発掘されたとのことで、古代ローマのキリスト者たちが、ローマの社会では弾圧を受けた時期に、その地下墓地で集会を開いて信仰を守ったようだ。

ローマからイギリスにもキリスト教が伝わり、やがてイギリス国教会ができたことも地の果てでのキリスト教の展開であるが、そこから信仰覚醒運動でメソディズム運動が生まれたが、その運動がカナダを経由して日本にも伝わり、わたしたちもある。こう考えると、主イエスがペトロを中心とする弟子たちやパウロに託された世界宣教の意味の大きさを知らされる。